

第2回

北区認知症フレンドリーアイデアミーティング 「認知症になってもはたらく!!」

- 認知症になっても社会参加できる地域社会を目指して -



を開催しました!

10月20日(金)に第2回認知症フレンドリー「アイデアミーティング」を開催しました。第2回は「本人のやりたいことをみんなで実現する」をテーマに、介護サービス事業所の職員さんと一緒にそこに通う利用者さんにもご参加いただきました。

当日は29名の参加があり、全国の「はたらく」取組みの事例を学ぶとともに、認知症ご本人の「こんなことやってみよう」とその実現に向けたアイデア出しを行いました。

1 【第1部】事例紹介

はじめに、認知症ご本人さんの「はたらく」取組みを実践している愛知県内の事例として「デイサービスセンター シルヴィー西尾」(愛知県西尾市)の動画を参加者全員で視聴しました。

また、町田市などで認知症の「はたらく」を実現されている(株)DFC パートナーズの大平美和さんから、「はたらく・社会参加」の全国の事例をご紹介いただきました。



(株)DFC パートナーズ大平さんから「はたらく」事例紹介

2 本人の想いを知るために

当日参加されたご本人4名の方にインタビューし、得意なことややってみたいこと、はたらくことへの想いを聞かせていただきました。



以前はYシャツを製造最近まで警備員として働いていたよ。

スキーが得意! 身体を動かすことが好きなので、仕事があれば、今後も働きたい。

保育園で園長をしていました。
楽しい人生をおくるために、今後も色々な人と関わっていきいたい...



以前はヘルパーとして働いていました。

だから、配膳や料理、掃除などが得意です。



以前は居酒屋を経営していました。お酒を飲みながら話すことが楽しい!

得意料理はカレー!

彫刻で動物などを彫るのが好きです。

3 【第2部】アイデアミーティング

第2部では、ご本人さんのインタビューを踏まえ、「①特技を活かす」「②いろいろな人と関わる」「③働く」の3つのグループに分かれ、ご本人さんが「やってみたい」ことと、それを実現するために「一緒にやりたい人・仲間に入ってもらいたい人」について話し合いました。

最後に各グループの話し合いの結果を発表・共有しました。発表された内容は下のとおりです。

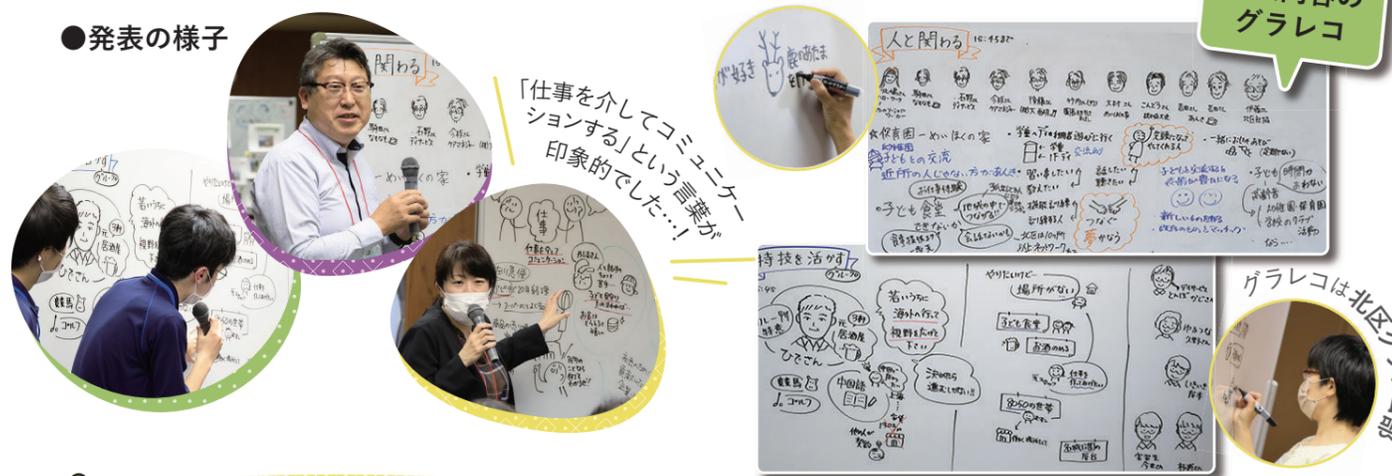


3つのグループに分かれて話し合い

●各グループから出された意見・アイデア

グループ名	認知症ご本人がやってみたいこと	実現に向け仲間に入ってもらいたい人
特技を活かす	<ul style="list-style-type: none"> 自分の得意なこと、経験を活かしたい 若い人に仕事をつくってあげたい 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂 名城公園の屋台 お酒を飲める場所 何かをやる場所 など
いろいろな人と関わる	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の子どもたちと関わりたい 	<ul style="list-style-type: none"> 1階がデイサービス、2階が学童の施設では自然と交流が生まれる。子どもとつながれる場所が必要では 子ども食堂 地域の保育園
働く	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの見守り、人の話を聞く 20年間のスーパー勤務経験を活かして働きたい お金を貰えると嬉しい 	<ul style="list-style-type: none"> 以前勤めていた企業 (スーパー・宅配企業) 商工会議所 ピアサポート (傾聴) 子ども食堂 など

●発表の様子



仕事(はたらく)を通じて生まれるコミュニケーションが大切であることを共有できました!

次回の予定

第3回は、第2回に出されたご本人さんのやってみたいことを実現するため、関係者の役割分担について検討します。それに先立ち、前半では先進地域での実現プロセスについて学びます。見学でも構いませんので、気軽にご参加ください。

第3回 北区認知症フレンドリーアイデアミーティング「やりたいことの実践に向けて」

開催日時 令和5年12月20日(水) 14:00 ~ 16:00

会場 北区役所2階 講堂